

札幌市発達障がい者支援地域協議会委員 各位

札幌市長 秋元 克広

令和 2 年度第 1 回札幌市発達障がい者支援地域協議会（書面会議）の結果について

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびは、令和 2 年 6 月 16 日付 札幌第 1368 号にてご案内いたしました標記会議にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本会委員の全委員より意見聴取書の提出を受け、下記のとおり意見を集約いたしましたので、ご報告いたします。

今後とも、本市の障がい福祉行政に対して、ご理解、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

1 検討事項における意見集約結果

（1）会長の互選について

委員全員から賛成とのご意見をいただきましたので、永井委員に会長にご就任いただきます。どうぞよろしく願いいたします。

※意見聴取書提出者 15 名。うち、賛成 15 名、反対 0 名

意見等（原文のまま掲載しています）	
【賛成】永井先生の自立支援協議会のご経験と幅広い知見で協議会をまとめていって頂ければと思います。	西尾委員
【賛成】永井先生のこれまでのご実績等より、ぜひご就任頂けることを願います。	石田委員
【賛成】永井委員が適任と思います。	松本委員

（2）協議会の開催について

委員全員から賛成とのご意見をいただきましたので、発達障害者地域支援マネージャーからの地域課題の提起、各部会・プロジェクトチームでの取組の集約により、発達障がい児者、家族等への支援体制に関する課題の整理、情報共有、連携を進めるものとして、年 2 回程度協議会を開催することとし、年間の取組について報告書を作成し、委員間での情報共有を行ってまいります。

※意見聴取書提出者 15 名。うち、賛成 15 名、反対 0 名

意見等（原文のまま掲載しています）	
【賛成】取り組みには時間をかけて大きく動かすもの、意志統一してすばやく動くものがあるので、全体会と部会、PT で両方を進めていきたいです。	西尾委員

【賛成】札幌では発達障がいに係る取り組みも発展してきたものの、まだ十分に支援が行き届いていない部分があることや、大都市故に関係機関も多いことから特に進むべき方向性の確認や連携共有の取り組みが欠かせず、そのため協議会の開催は必要と考える。	石田委員
--	------

(3) 部会、プロジェクトチームの発足について

① 理解促進部会

委員全員から賛成とのご意見をいただきましたので、理解促進部会を発足させることといたします。いただいたご意見等につきましては、部会内で共有・検討してまいります。

※意見聴取書提出者 15 名。うち、賛成 15 名、反対 0 名

意見等（原文のまま掲載しています）	
【賛成】部会メンバーに関し、子ども部会も協力します。	金澤委員
【賛成】9割は「発達障がい」という言葉を知っている調査があるが、どういった方たちかは知られていない。近年はネット普及しているので、ホームページや SNS を使って正しく普及したい。	西尾委員
【賛成】障がい名としての認知は広がっているものの、ネガティブな受け止めをされている場合も多いと感じる。ポジティブな情報をより多く発信していく必要もあると感じる。	石田委員

② 家族への支援部会

委員全員から賛成とのご意見をいただきましたので、家族への支援部会を発足させることといたします。部会名につきましては、札幌市発達障がい者支援施策体系にあわせたものとしております。いただいたご意見等につきましては、部会内で共有・検討してまいります。

※意見聴取書提出者 15 名。うち、賛成 15 名、反対 0 名

意見等（原文のまま掲載しています）	
【賛成】名称は「家族支援部会」とせず、「家族への支援部会」とした理由があるのでしょうか？	永井委員
【賛成】部会メンバーに関し、子ども部会も協力します。	金澤委員
【賛成】どんな効果的な支援があっても、児童期は家族とすごすことが多い。専門家の家族との協働は必須だと思う。まずペアトレをだれでもうけられるような仕組みはどうでしょうか。	西尾委員
【賛成】以前は家族会活動が活発であったものの、近年は全てにおいて孤立化しやすい社会に変わってきている。家族を支える新しい仕組みづくりが求められる。また、福祉サービスの過供給が、親の養育力を衰退させている場合もあるのではと個人的に感じている。	石田委員

- ③ 発達障がい理解促進委員会～カラフルブレイン札幌～プロジェクトチーム
委員全員から賛成とのご意見をいただきましたので、発達障がい理解促進委員会～カラフルブレイン札幌～プロジェクトチームを発足させることといたします。
(お送りした資料に「発達障がい理解促進部会」との誤表記をしており、申し訳ありませんでした)。いただいたご意見等につきましては、プロジェクトチーム内で共有・検討してまいります。

※意見聴取書提出者 15 名。うち、賛成 15 名、反対 0 名

意見等 (原文のまま掲載しています)	
【賛成】JR コンコースの活用は、市民の目に止まりやすい。アートのみならず、アートも含めた新しい啓発の検討もしていきたい。	西尾委員
【賛成】市民の啓発において、イベントによるアプローチは特に効果が大きいと思ひ、より発展していくことを期待します。	石田委員

- ④ 保護者・幼児期支援者人材育成 (ペアプロ) プロジェクトチーム
委員全員から賛成とのご意見をいただきましたので、保護者・幼児期支援者人材育成 (ペアプロ) プロジェクトチームを発足させることといたします。いただいたご意見等につきましては、プロジェクトチーム内で共有・検討してまいります。

※意見聴取書提出者 15 名。うち、賛成 15 名、反対 0 名

意見等 (原文のまま掲載しています)	
【賛成】今年度、札幌相でも「札幌市育児不安保護者支援事業実施要綱」を廃止し、新たに「札幌市児童相談所家族支援事業実施要綱」を施行。ペアレントプログラム等の家族支援プログラム等の実施や実施者の養成に力を入れており、本プロジェクトと重なる部分が多いと思ひました。	杉本委員
【賛成】ペアプロは専門機関ではなく、地域で行う主旨だったと思ひますので、行政の方中心で展開して欲しい。また、事業化して欲しい。	西尾委員
【賛成】ペアレントプログラムの普及がよりすすんでいくことを期待します。	石田委員

- ⑤ 発達障害児者地域生活支援モデル事業 プロジェクトチーム
委員全員から賛成とのご意見をいただきましたので、発達障害児者地域生活支援モデル事業プロジェクトチームを発足させることといたします (すでに実働している「発達障害児者地域生活支援モデル事業企画・推進委員会」を協議会プロジェクトチームとして位置づけることといたします)。

※意見聴取書提出者 15 名。うち、賛成 15 名、反対 0 名

意見等 (原文のまま掲載しています)	
引き続きよろしくお願ひいたします。	林委員

2 報告事項に対する意見等

(1) 発達障害者地域支援マネジャーの役割について

意見等（原文のまま掲載しています）	
二次障がい等にも幅広くご支援いただくこと、有難いです。	長田委員
説明資料の他にも、今回、協議会への地域課題提起という重要な役割を担われるとのこと。協議会内外で今後ともよろしくお願ひ致します。	林委員
支援対象機関が幅広く、ニーズに対応できるのか心配しております。おがるの「機関支援」と重なる部分もありながらマネージャーならではの支援があれば教えていただきたい。	荒川委員
地域にある多様な課題を前線で支援している。1つの現場では気づきにくいこともあるので、ぜひ周知して発達障がいの課題を整理して行ってほしい。	西尾委員

発達障害者地域支援マネジャーの役割についてのご意見ありがとうございました。マネジャーの支援対象は、強度行動障がい、触法、ひきこもり、暴力、自傷など多岐にわたり、全ての分野のことを熟知した上での対応の難しさはご指摘いただいたとおりです。不足する部分は、各専門家との連携、チームづくりで補っていきたいと考えております。機関支援における「おがる」と「マネージャー」の役割としては、より対応が困難なケースをマネージャーが受け持つこととし、困難ケースは支援体制等が薄いことも多いため、マネージャーがチームづくりから含めて手厚く支援をするイメージで行っています。困難ケースの受け入れをあたりまえに行える地域づくりをすすめられるよう皆さまと連携し、支援を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします（石田委員）

(2) その他

いただいたご意見等につきましては、全体会、部会、プロジェクトチーム内で共有・検討してまいります。

意見等（原文のまま掲載しています）	
「協議会の組織図」をみていて、大人の発達障害のある当事者向けの支援はどこで行われるのだろうか？と思いました。家族や支援者、市民への支援や啓発も大切ですが、大人の当事者が「仲間外れ」にされているように感じます。大人として自分でできることを増やしていくための支援を、この協議会でみなさんといっしょに作り上げていけたら嬉しいです。例えば、こんなものがあったら…と「暮らしのサポートファイルさっぽろ」的なものを考えてみました。他のプロジェクトが進んだ後、着手されたらいいなと思います。※添付資料あり。	いちこ委員
勉強させていただきます。よろしくお願ひします。	星野委員

<p>学校現場では、新型コロナウイルス感染症の対応による休業期間の長期化などによって、保護者との連携が課題の一つとして挙げられます。発達障がいのある子どもの支援についても、現在の情勢を踏まえた家族への支援という視点が重要になると考えます。</p>	<p>北原委員</p>
<p>状況に応じてですが、自立支援協議会との連動や役割が重ならないような調整が必要な場合は、都度、相談させていただけますと助かります。</p>	<p>林委員</p>
<p>「発達障がい」と言っても、この障がいが特別ではないので、地域課題として 10%いるといわれている方たちのことを多くの分野の方と話し合っていきたい。</p>	<p>西尾委員</p>
<p>感染症状況により、発達障がい支援に係わる必要な連携共有が取りづらくなっていることについて、今後どのような影響が出てくるかを危惧しています。</p>	<p>石田委員</p>

札幌市発達障がい者支援地域協議会事務局
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市保健福祉局障がい保健福祉部
発達障がい担当係 神田
Tel : 011-211-2936 FAX : 011-218-5181